

# シオンだより

発行 社会福祉法人 思恩会  
児童家庭支援センター シオン (七窪思恩園内)  
TEL0235 (68) 5477 Fax0235 (68) 5478  
発行責任者 所長 佐藤 以中  
平成25年 7月 第20号

## 第1回「子育て交流会」 『子どもの思春期』について、お話を聴きました。

6月6日、シオンに於いて、看護師兼思春期保健指導士・阪口裕子氏のお話をお聴きしました。そのお話の中の一部を紹介いたします。様々な質問にも答えていただき、有意義な『子育て交流会』でした。

日常生活の中で「違う見方」があると、気づかせてくれるのが友人などであり、自尊心を育むことにつながっていく。また、「自分は自分でいい」「この世に一人しかいない自分」を大切に思えるように、家庭が子どもを応援していく。これは両親の役割である。周りの支えがあって、自分の「性」を認めていける。子どもができたから親になるのではなく、子どもが育つと共に親になる。いわば、子どもに育てられて親になる。かわいい！と思ひ子育てができることは、親子ともに幸せなこと。いろいろな事情でできない場合も多い。父母の声かけや肌と肌のふれあいが情緒の安定につながる。よく見る(手をかざして見る、目を使って見る)ことは、どの世代にも共通する。いつもと違うことに気づいてやれるのは親だけである。気づいてもらえることにより、一人ではない、見守られていると感ずることが出来る。心配してくれる人がいるという思いが心に住みついた子たちは、親から愛されている想いが悪い誘惑からのブレーキとして働くことが多い。

### 阪口さんからの耳寄りな話！——《親と子の関わり方》



《0~4歳》……手を添え、心を添える。

《0~13歳》……それに加えてよく観察し努力して関わる。だから我が子がかわいいと思ひ、かわいいから気づきがある。

《7~18歳》……良いことも悪いことも成長の過程で出てくる。そこで善悪の判断ができ、行動につなげていけるように、親として関わっていく。

《9~20歳》……親からたくさん受け止めてもらい、たくさん失敗して、心豊かに学べるように関わる。

## 第二回

9月12日(木) 午後2時~3時

場所：児童家庭支援センター・シオン

内容：思春期について『パート2』です。

大勢の方の参加をお待ちしております。

◎無料ですが、資料等の準備もごさいますので、事前にシオンまでお知らせください。

### 案内図

JR鶴岡駅下車  
善宝寺経由湯野浜温泉行バス  
東松並下車徒歩5分



★シオンでの相談は

・緊急時 365日 24時間対応します。

相談専用☎番号；0235-68-5477

Eメール；tzion@shionkai.hs.plala.or.jp

### ♣ 場所は

児童養護施設七窪思恩園内の二階です。  
庄内空港から真っ直ぐ湯野浜に向かう途中にある白い塀の建物です。



《シオンの利用方法》——電話やメール、手紙の他に。

【来所】直接お出でください。予約して頂くと有難いです。

【訪問】来所が難しい場合や相談内容に応じて、訪問相談も受けます。

